横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

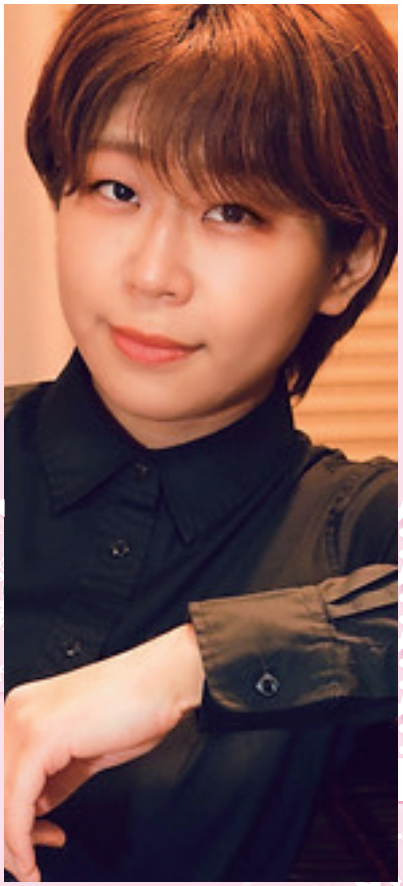
SAKURA

Since 2013

SAKURA さくら

Vol.69
11･12 月号
2024.11.1 発行

10 周年からその先へ　ずっと続く文化芸術



末武 稀更

丹澤 まりえ

粟谷 明菜

音楽の力で笑顔があふれる

== INDEX ==

Pick Up Artist
ZARAKI PROJECT
末武 稀更（ピアノ・司会）

さくらプラザ 自主事業レポート
さくらプラザオープンデー 2024 真夏のこども探検隊

連載
アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、
ちょっと詳しくなっちゃおう
vol.3 ／小田 直弥

リレーインタビュー
横浜横断！地域連携コーディネーターに
今を聞いてみた

人は皆 背中で語る…見返戸塚人

Web版

SAKURA PLAZA

Pick Up Artist

ZARAKI PROJECT

末武（すえたけ） 稀更（きさら）／ざらきちゃん

—みんなを笑顔に—

ZARAKI PROJECT の子ども向けコンサートの様子

さくらプラザの子ども向け企画と言えば「ららら♪ドレミ」シリーズです！親子で気軽に周りを気にせずにクラシック音楽を楽しんでいただけるこのシリーズは、毎回異なる内容でお届けしています。今回で 26 回目を迎える本公演は、企画、ピアノ演奏、司会、イラスト、デザイン、ゲーム制作などなど、幅広い活動でご活躍のざらきちゃんこと、末武（すえたけ） 稀更（きさら）さん が代表する【ZARAKI PROJECT】プレゼンツのバリエーション豊かなコンサートをお楽しみいただけます。【ZARAKI PROJECT】って？ざらきちゃんってどんな人？
公演に向けて代表の末武さんにお話を伺いました。

—ZARAKI PROJECT を設立したきっかけをお教えください。

末武（すえたけ） 稀更（きさら）(以下、省略)—私は音楽大学を卒業しているのですが、実は高校も音楽を勉強する学校に通っていて、高校 3 年生の最後の文化祭で同級生たちとコンサートを企画したんです。その時に初めて「ZARAKI PROJECT(ざらきプロジェクト)」という名前で活動をしたのがプロジェクト名の始まりです。「ZARAKI(ざらき)」は私の高校時代のあだ名なんです (笑)。下の名前の「稀更 (きさら)」をもじったものなんですよ。
「ZARAKI PROJECT」で音楽活動を正式にやってみようと思ったきっかけはまたその後の出来事があったからなんです。文化祭の後にまたすぐ別の企画で、地域の病院などで行うコンサートに参加することになり、小編成のアンサンブルで出演させていただきました。ピアノ連弾があったり、他の楽器と演奏したり……。今回のさくらプラザでのコンサートのような形で、華やかな感じで演奏したのを覚えています。その演奏が終わった後に、聴きに来てくださった患者さんが、私の手を握って「元気が出ました、ありがとう」と言ってくださって……。音楽の力をダイレクトに感じましたし、そして喜んでもらえて私もとても嬉しかったんです。この時の経験が、今の活動のきっかけになっている気がします。

—子ども向けのクラシックコンサートを企画する時の目標はありますか？

まずはやっぱり、聴きにいらしてくださった子どもたちが楽しくなれるようにする、というところです。そして、子どもたちだけではなく一緒にいる大人の方も笑顔になれるような内容にしようというのを常に心がけています。「楽しい」だけではなく、その「楽しさ」の中に“新しい発見”や“学び”を取り入れることもしています。そうすることで、音楽を通して、子どもたちにいろんな感動を持って帰っていただけるコンサートになるのではないかな、と思っています。

—ZARAKI PROJECT ならではの良さを教えてください。

プログラムを考える時に、アップテンポの曲やノリのいい曲を取り入れたりする他に、トークやクイズなどのコーナーも組み込んで、来場者が「聴く」「参加する」時間を作るようにして、飽きる時間すらも与えないように頑張っています。
そして、私自身が「連弾」をすることが好きなので、公演の内容にもよりますが、ピアノ連弾を取り入れています。連弾で弾くピアノの響きは、もちろんふたりで演奏するので 2 倍の響きになりますし、音域の幅も広がって、表現もソロで演奏するのとは異なります。そして、何よりも連弾の一番の魅力は「一体感」ですね。ふたりでひとつの楽器でひとつの曲を演奏するときの高揚感が聴いている方にも伝わると、会場全体がひとつになるような感覚になるんです。ピアノ連弾と他の楽器との組み合わせでアンサンブルをするスタイルも ZARAKI PROJECT ならではなんじゃないかな、と思っています。ちょっと珍しい編成なので、聴きどころというか、「良さ」だと思っています。

—今回の公演で共演するおふたりについて、教えてください。

私が「あわやちゃん」と呼んでるクラリネットの粟谷（あわや） 明菜（あきな）さんは大学の同級生で、「まりえちゃん」こと、ピアノの丹澤 まりえさんは高校から大学まで一緒の同級生です。学生時代からの仲間なので気心も知れたというか、音楽を一緒に作るのがとても楽しいです。あわやちゃんは、ZARAKI PROJECT でも何度も共演しています。このおふたりは、演奏はもちろん素晴らしいのですが、人柄と雰囲気がとっても柔らかく、やさしいんですね。一緒にいるとあったかい気持ちになるというか。それが音楽にも表れていて、きっと今回も素敵な演奏で子どもたちを包み込むような優しい音色をお届けできると思います。

—ZARAKI PROJECT のこれからの展望はありますか？

子ども向けのクラシックコンサートをこれからももっとたくさんやっていって盛り上げていきたいと思っています。これからやってみたい企画もあって……。私はゲームも大好きで、現在ゲームアプリの開発にも関わっています。なのでゲームの音楽の生演奏コンサート企画にもチャレンジしてみたいですね。
ZARAKI PROJECT では子ども向けの企画で絵本コンサートも行っているんですけど、その絵本のイラストも私が描いているんです。昔から絵を描いたりするのも好きで、今こうして自分の活動に好きだったことが活かせているので、好きなことを突き詰めて、皆さんを笑顔にしたいです。音楽もイラストもゲーム開発も、バラバラなことをしているように思われてしまいがちなんですけど、たくさんの人を笑顔にしたいという想いですべてのことに取り組んでいるのは共通の信念です。私も楽しみながらこれからも ZARAKI PROJECT を発展させていきたいです。

—戸塚公演への意気込み、お客様へのメッセージをお願いします。

さくらプラザで皆さまにお会いできることをとても楽しみにしています。ららら♪ドレミ シリーズではリハーサル室でお客様との距離が近いということで、アットホームな雰囲気で一緒に音楽を楽しめることが今からとても待ち遠しいです。皆でたくさん盛り上がれたらいいなと思っています！

取材・構成／山上 由布子
写真／石田 佑季

さくらプラザ
自主事業レポート

さくらプラザ オープンデー2024

真夏のこども探検隊

2024年7月20日(土)9:45～15:45

イラストレーション　小川かなこ

今年のオープンデーは世界旅行をテーマに、様々なコンセプトの部屋を回って、世界を旅した気分になっていただけるよう企画しました。オープンデーをきっかけにさくらプラザに興味を持ってもらえるよう、当館人気シリーズ公演や、誰でも自由に参加いただけるようなイベントをたくさんご用意し、親子で楽しめる１日をお届けいたしました。当日は延べ約 1700 名の方にお越しいただき、大盛り上がり！今回も戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」が遊びに来てくれたり、多くの企業や団体の皆様にご協力いただきながら、地域の皆様とともに「さくらプラザオープンデー」を作り上げることができました。当日の様子をご紹介いたします。

ららら♪ドレミシリーズ Vol.25　０歳からのコンサートデビュー♪ なおちゃんと一緒！みんなで世界を旅しよう！

ホール

大人気の親子向けコンサートシリーズのホール公演。NHK「おとうさんといっしょ」初代歌のお姉さん“なおちゃん”NHK-E テレ「フックブックロー」けっさくくん役でおなじみの“タニケン”さんが登場。
音と映像でなおちゃんと世界一周をしたり、オリンピック競技にチャレンジしたり、歌って踊って、全員で大盛上がり！なおちゃんとタニケンさんの素敵な歌声に大人も子どもも癒されたのでは!?

安藤 なおこ（歌のおねえさん）　スペシャルゲスト　タニケン（谷本 賢一郎）

声楽と弦楽器で美しいチェコの景色を音楽で味わう旅

ギャラリー

事前ワークショップで制作したチェコの街並みの風景をバックに、ソプラノとヴァイオリン、チェロなどの弦楽器でチェコの作曲家による有名曲を中心にお届けしました。楽器紹介や曲目解説などトークを交えたクラシックコンサートを、子どもから大人まで楽しんでいただきました。

松﨑 夏美 (ソプラノ)、ヴァーツラフ・アダミーラ (チェロ)、
アンサンブルスピラーレ（武井 喜哉、山本 有莉、渡辺 雅之、李 信恵）

真夏のさくらプラザでフラダンス体験をする旅

リハーサル室

フラダンスの初歩的な動きをみんなで体験！ステップやハンドモーションの練習をして音楽に合わせフラダンスの踊りを楽しみました。小さいお子さまから保護者の方まで、ハワイの風景を思い浮かべながら、みなさん楽しそうに踊っていました。最後の挨拶はアロハー！

講師：中川 聡子 (フラスタジオロケラニ主宰)

協力

【102Cafe】

戸塚区総合庁舎３階にあるレストラン「102Cafe」よりご協力いただき、嬉しい割引特典がありました。

バルーンの入口でお出迎え！

フォトスポットで写真は撮ってくれたかな!?

さくらプラザの中を旅しよう！パスポートを持って世界一周

縁日コーナー／パスポートで世界一周

出国カウンター

縁日コーナー（左の写真２点）

各イベント会場を回ってさまざまな国のシールをパスポートに貼って、縁日コーナーで遊んじゃおう！ストラックアウト、輪投げ、金魚づくりそれぞれのブースで楽しんでいただきました。金魚はお家に連れて帰れたかな!?　お帰りの際には出入国カウンターで出国手続きを行い、ご協賛いただいた宝製菓のお菓子をお持ち帰りいただきました。

※写真はすべてカメラマン 上田 健次さんによるもの

オープニング演奏　世界を旅する前に！出発の合図は音楽で♪いってらっしゃい♪

「Dr. キミー」、ゲストとして「ウナシー」の登場と、声楽と弦楽器の演奏でオープンデーの１日が始まりました！

協賛

パスポートを持って世界一周　宝製菓のお菓子をもらおう

戸塚区内にある企業【宝製菓株式会社】のご紹介コーナーでは、工場でビスケットが作られる様子が映っている DVD を観たり、飾ってあるお菓子のパッケージを見て、「食べたことある！」と嬉しそうに家族とおしゃべりしている子どもの姿が見られました。
さらに、配布したパスポートを持って出国手続きをすると宝製菓のお菓子をプレゼントする企画もあり、大人も子どもたちも笑顔が満開に！

日本語と英語で楽しむ親子リトミック旅行

練習室１

旅行をテーマに、英語＋親子リトミックというプログラムで開催しました！
音楽に合わせて体を思いっきり動かしたり、イギリスの文化などを交えながら楽しく英語を学んだりと子どもたちの楽しそうな姿をたくさん見ることができました！

講師：山添 薫（リトミック講師）・白川 千文（英語講師）

アジア伝統の楽器を楽しむ旅

練習室３

中国の「二胡」とモンゴルの「ヤトガ」のミニコンサートを行いました。
普段あまり見たり、触れたりする機会の少ないアジア伝統の楽器の音色を楽しんでいただきました。それぞれの国や楽器の紹介、また小さいお子さまには楽器に触れる機会を設け、短い時間でしたがみなさん異国の世界を体感されていました。

写真左：酒井 和嘉子（二胡）　写真右：中西 史子（ヤトガ）

落語調 !? で巡るオペラの旅

練習室４

ナビゲーターが落語調でわかりやすくオペラを語り、本格的なソプラノ・バリトン歌手が聴き馴染みのあるオペラをお聴かせしました。お客さまとの距離間が近く、生の歌声は迫力満点！みなさん驚きながらも楽しそうにオペラの世界を満喫されていました。歌うだけではなく、ダンスなどもあり親子で楽しんでいただけたのではないでしょうか。

ムジカ・アンティカ（蛇目 泰子、男澤 友泰、柴田 景将）

協賛

【株式会社エステー】

館内の消毒・抗菌コーティングのために「Dr.CREAN＋」をご提供いただきました！

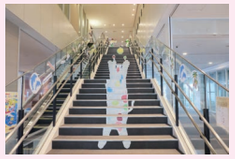
フィナーレ演奏　旅の終わりに！家に帰るまでが旅行です♪また来てね♪

オープンデーの最後は蛇目泰子さん、男澤友泰さんの歌声でフィナーレを飾りました。ウナシーも登場して、みんなでリズムにのりながら大盛況の中オープンデーの幕を閉じました。

ムジカ・アンティカ（蛇目 泰子、男澤 友泰）

毎年恒例のさくらプラザオープンデー！８月31 日の開館日にちなんで夏に行っている親子向けイベントです。今年も多くの方にご来場いただき誠にありがとうございました。皆様にとってさくらプラザが文化芸術を通していつでも楽しめる場所になるよう、「まちのアートステーション」として発信し続けてまいります。

特別展示／全体装飾



戸塚区内の子どものアートの教室「造形教室むむてぃあ」の皆さんによる“世界旅行”をテーマにした力作を展示しました♪約５mの画用紙に各自がテーマに沿って個性豊かな作品をアクリル絵具で描いていただきました。
また全体装飾として、地域の団体・子どもたちによる国旗の装飾を行いました。「世界旅行」をテーマに国旗を描いてもらい、団体ごとに掲示させていただきました。7 団体から集まった約 200 枚の国旗がさくらプラザを彩りました。
階段には大きなウナシーが復活！！皆さん一緒に写真を沢山撮っていました。

アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、ちょっと詳しくなっちゃおう

小田 直弥

★★★★★ Vol.3 ★★★★★

クラシック音楽の歴史に刻まれたアメリカ人作曲家による名(迷?)曲たち

横浜市は世界の８つの地域と「姉妹・友好都市」の提携をしています。その最も古い提携先はアメリカのサンディエゴ市です。私たちの身近には、アメリカ発祥のものがたくさんあります。例えば携帯電話や YouTube、ハンバーガーやコカ・コーラ、野球やバスケットボール、ジーンズや T シャツもアメリカ発祥です。加えて、アメリカは音楽や文学といった文化芸術にもたくさんの魅力があります。そこで本連載を「アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、ちょっと詳しくなっちゃおう！」と題し、音楽と教育を専門とする小田直弥さんと、アメリカ文学を専門とする土屋陽子さんの２名でお届けします。

クラシック音楽の歴史を眺めるとき、アメリカ人作曲家によるユニークな挑戦が目に留まります。即興が本質であるジャズと書き記された楽譜を用いるクラシック音楽との接点を見出そうとしたり（ジョージ・ガーシュウィン）、1/4 音ずれて調律されたピアノのための作品があったり（チャールズ・アイヴズ）、開いた手や前腕全体などでピアノの複数の鍵盤を一気に鳴らすクラスター奏法を開発したり（ヘンリー・カウエル）、修理不可能で廃棄となるピアノを燃やしながら演奏してみたり（アニー・ロックウッド）……、クラシック音楽がつないできた「伝統」と呼ばれる過去向きの思考をとことん排除し、新しい音、新しい考え方、音楽の可能性とはなにか？という「未知」への探究を積極的に行ったのがアメリカ人作曲家でした。

今回は、そのようなアメリカ人作曲家による、２つの名(迷?)曲をご紹介したいと思います。１つはジョン・ケージ（John Cage, 1912-1992）による《4分33秒》、もう1つはレナード・バーンスタイン（Leonard Bernstein, 1918-1990）による《I hate music!》の中の１曲です。

ケージの代表作品の１つとされる“4分33秒”は、演奏者は舞台にいるけれども音は鳴らさないという作品です。4分33秒間がすべて「休符」によって構成された作品なのです。「そんなの音楽じゃない！」「子どもの遊び！」なんて声もあるかもしれませんが、少し立ち止まって考えてみると、音楽とは、ソやドなどの高さの音を楽器で演奏し、休符は必要に応じて効果的に用いられるもの、という思い込みがあったことに気付かされるかもしれません。楽器を習ったことがある方であれば「休符も音楽よ！丁寧に感じて！」なんて言われたことがあるかもしれませんが、そうした休符を主役にした音楽作品という発想は当時、あまりに画期的なことでした。この作品のベースにあるケージの「沈黙（silence）」という考え方は、たとえ4分33秒間がすべて休符であったとしても、耳を澄ませば会場ではなんらかの音が鳴っているはずであり、それこそが音楽である、というものです。例えば咳の音やしゃべり声、時には携帯電話も鳴るかもしれません。この作品は数多くの批判と議論の的になりました。しかし、世界中の音楽家や芸術家に共感するところがあったからこそ、次第にケージの考え方に影響を受けた作品が生まれるようになりました。4分33秒を計ることさえできれば、誰でも、どこででも演奏可能な作品です。みなさんもぜひ演奏してみてください。私たちはたくさんの音に囲まれて生きていることを実感できると思います。

バーンスタインによる歌とピアノのための作品《I hate music!》は、5曲からなる歌曲集でして、今回取り上げるのは4曲目〈大きなインディアンと小さなインディアン（A Big Indian and a Little Indian)〉です。歌とピアノのための声楽作品は「歌曲」と呼ばれ、歌曲の分野では、文学的に優れた詩に、美しい音楽をつけることが伝統になっています。一方でバーンスタインのこの作品は、詩が「なぞなぞ」になっており、観客にはなぞなぞを解くシンキングタイムが曲中で２小節分与えられるという、今日でいう「参加型」の歌曲になっています。繊細でシリアスな内容を扱うことが多い歌曲の分野において、こうした「参加型」の歌曲が生み出されたことは画期的でした。せっかくなので、この作品のなぞなぞにみなさんも挑戦してみませんか？演奏を聴きたい方は、YouTube等で「Bernstein A Big Indian and a Little Indian」と入力して、検索してみてください。

大きなインディアンと小さなインディアンが、通りを歩いていました。小さなインディアンは大きなインディアンの息子です。でも、大きなインディアンは小さなインディアンのお父さんではありません。さて、大きなインディアンとは誰でしょう。

（答えはページ右下）

アメリカ人作曲家の挑戦は、西洋の思考や方法からの脱却という、クラシック音楽に新たな「自由」を求めるものでした。日本では、アメリカ人作曲家の作品を生で聴くことはなかなかできませんが、もしどこかで見かけたときには、お出かけしてみてください。きっと、いつものクラシック音楽とは違う、彼らのユニークな挑戦に触れることができるでしょう。

小田 直弥

弘前大学教育学部助教（ピアノ研究室）。東京学芸大こども未来研究所学術フェロー。「合唱 × 教育」の実践的研究を行う「合唱団よびごえ」代表。歌曲ピアニストとしてはイタリア、ドイツ、フランス、日本の歌曲の演奏に加え、「英語による芸術歌曲の世界」と題する演奏会を企画・実施するなど、アメリカ、イギリスの歌曲の演奏にも力を入れている。教育研究ではヤマハ株式会社によるエジプト国初等教育への日本型音楽教育導入事業等に参加している。

なぞなぞの答え：お母さん

リレーインタビュー 横浜横断！地域連携コーディネーターに今を聞いてみた

第4回
岩室 晶子（いわむろ あきこ）さん

特定非営利活動法人 I Love つづき　シェアリーカフェ（活動拠点）

横浜市都筑区中川1-17-22ガーデンプラザ宮台402（9:30～18:00（基本営業時間）定休日:月曜日）

※詳細はHPをご覧ください。
https://webyoko.com/ilt/

このコラムでは横浜市18区で地域の課題解決のために、コーディネーターとして「地域と人と組織」をつなぐ橋渡し役をしている方たちにインタビューを行います。

―活動について教えてください。

「I Love つづき」という NPO で理事長として様々なコーディネーター業務を行っています。

NPO の前身としては地域の課題解決に興味をある人が集まるボランティアのような形で活動をスタートしました。メンバーはそれぞれ異なる専門性を持ち、「楽しそう・興味がある」をマインドに地域の様々な問題点の「可視化」を行ってきました。例えば、「感覚的にあの辺は交通事故が多い気がするのはなぜだろう」、「どうしたら交通事故の少ない街になるのだろう」といった興味をもったら、「なんとなく」を「見える化」するために、地域の方にお話を伺ったり、事故のデータを集計してマップにし、そのデータを多くの方が見られようにしていました。またそういった際には行政や大学、企業など様々な方と連携して形にしてきました。

―活動拠点のシェアリーカフェについて教えてください。

「I Love つづき」が NPO 化して 10 周年を迎えたころに、地域の人々が集まり、イベントやワークショップができる場、地域をつなぐ場、コミュニティカフェとして「シェアリーカフェ」の拠点運営を始めました。

カフェの運営を通じて、地域の交流や学びの場を創出することを目指しています。子育て世代から高齢者まで、幅広い世代が集まる場所としての役割を果たし、地域の活性化に寄与しています。

イベントに関しては主催以外にも会員様による企画・講座も行われており、内容やジャンルも様々で、幅広い世代に向けて間口を広げています。

―若者の参加促進をどのように考えていますか？

次世代を担う若者の地域活動への参画を推進するには、こどもの頃から受益者としてお客さま扱いするのではなく、ボランティア側として大人とこどもが一緒になって作り上げていくことが大切です。それにより大人になっても地域に関わる人をつくっていくことができると考えています。

―地域の魅力を引き出すには

地域の魅力を引き出すためのアイデアを、地域課題にも考慮しながら、企画から関係者と一緒に考え、提案します。その実現に向けて諦めずに、多くの方に働きかけることが大切です。「みんなでまちづくりする」「まちに関わる人が多い」まちが、地域の魅力溢れるまちだと思います。

―地域連携コーディネーターのこれから

コーディネーターは、地域の課題解決に向けて重要な役割を果たしています。それぞれのよいところを惜しみなく出し合い、つながることができれば地域はもっとすてきになります。誰でも地域の人と人をつなぐことはできると思うので、ぜひまずつながりづくりにチャレンジしてください。

人は皆 背中で語る…

ミカエリトツカジン
兄 返戸塚人

其之 六十七

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介するコーナーです。

―髙田さまのこと、お店についてお聞かせください。

3 歳から東戸塚で暮らし、妻とは会社員時代、同じ会社で出会いました。ファッション関係の会社に長く勤め、50 歳で商店街の経営に関する仕事に転職し商店街の支援、冊子やHPの作成、企画広報などを行っていました。これまでの経験や知識をもとに商売へ繋げられたらやりがいになるのではと考え、お店を開くことにしました。長年の趣味である陶芸の教室を開き、妻にはフラワーアレンジメントについて学んでもらいました。庭では多肉植物の販売や寄せ植え体験も始めました。その後、始めたカフェは陶芸教室に参加して下さった方や、近所の子どもたちになにか提供できないかと考え夏はかき氷、秋はパンケーキ、1 年を通してピザ、パフェ、ワッフルなどを出しています。

顔見世

湘南気分 髙田誠一（たかだ せいいち）さん・晴美（はるみ）さん

《第2のおうち気分をお届け》

―心掛けている点やこだわりを教えてください。

陶芸教室ではできるだけ自由に、希望するものを作っていただいています。電動ろくろや、手びねりなど皆さんが気軽に楽しめるように心がけています。カフェのメニューについては実際に 2 人で食べておいしい！食べに行きたい！と思えるものを考えて提供しています。もともと凝り性で全力投球しないと気が済まない性格なので出すならおいしいものをと考えており、試行錯誤して完成したメニューやお客様からのリクエストを取り入れたこともあります。

―お客様と接する上で嬉しかったことはありますか？

駄菓子の販売もしているので、駄菓子を通して近所の子どもたちのお買い物の練習の場になったり、内緒話を共有してくれたり、そういうことが嬉しく感じます。冬の時期には駐車場にテント付きのこたつを出して、少し離れたところからトランシーバーで注文をすることが遊び心をくすぐるのか子どもたちに人気なので、今年もやる予定です。

―今後の夢や目標を教えてください。

もともと商店街に関する仕事をしていたこともあり、商店街のような体験をお店でできたらなという考えがありました。商店街はただ買い物をするだけではなく地域の人の安心安全やお祭りなどの文化継承など地域の人にとってのコミュニティの場所だと考えています。縁日や流しそうめん、冬はこたつに入るなど昔ながらのことを地域の人にも楽しんでもらうことは今後も継続していきたいです。第 2 のおうちと言うと大げさかもしれないですが、そんな場所を目指しています。

―読者の皆さまに一言お願いします！

誠一さん：とりあえず遊びに来てください。きっと楽しんでいただけると思います。
晴美さん：わんちゃんと一緒の来店も OK なのでぜひご一緒にお越しください！

戸塚人に逢いに行こう！

しょうなん き ぶん
湘南気分

神奈川県横浜市戸塚区深谷町 416-5
営業時間 10:00 ～ 17:00 月・木定休
※営業時間・休業日は変更になる場合がございます。
詳しくは Instagram からご確認ください。
TEL:045-853-3433
Instagram アカウント：@shonan.kibun

次号の戸塚人は・・・？

この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します！

さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話（045-866-2501）でご予約いただけます。（一部除外あり）
詳細は各公演チラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券は公演当日に学生証を必ずご持参ください。※チケット料金は総額表示です。

主　催

ららら♪ドレミ シリーズ Vol.26

0歳からのコンサートデビュー♪

～わくわくたのしい音楽の宝箱！～

ZARAKI PROJECT（ざらきプロジェクト）

全席自由
各回 500円
（0歳から有料）

赤ちゃんも歓迎！

好評発売中

11/14(木)
①10:30開演
②11:45開演

末武 稀更
（ピアノ・司会）

丹澤 まりえ
（ピアノ）

粟谷 明菜
（クラリネット）

会場 リハーサル室

鈴木 理恵子＆若林 顕デュオ・リサイタル

Duo Recital

全席指定
一　　般　3,000円
横浜市民　2,700円
学　　生　1,000円

好評発売中

12/21(土)
14:00開演　休憩あり

鈴木 理恵子
（ヴァイオリン）
©Wataru NISHIDA

若林 顕
（ピアノ）
©Burkhard Scheibe

会場 ホール

新春さくらプラザ寄席

笑う門には福来たる。新春初笑い!!

まもなく発売

柳家さん生

柳家わさび

全席指定
一　　般　3,500円
横浜市民　3,000円

電話予約開始
11/16(土)14:00～
2025年1/11(土)
13:30開演　休憩あり

蝶花楼桃花

柳家緑太

鏡味味千代

会場 ホール

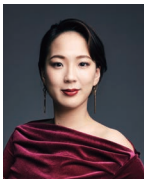
名曲サロン シリーズ Vol.41

林 眞暎 メゾソプラノコンサート

全席指定
一　　般　1,000円

まもなく発売

電話予約開始
12/16(月)14:00～
2025年2/20(木)
14:00開演　休憩あり


林 眞暎
（メゾソプラノ）

陣内 和歌子
（ピアノ）

会場 ホール

開催決定！

入場無料

春の芸術祭

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに溺れる3日間

マルシェ出店
ホール公演
ギャラリー展示

2025年2/20(木)	ギャラリーのみ	13:00～17:00
2/21(金)	ギャラリーのみ	10:00～17:00
2/22(土)	ホール	14:00～16:00
	ギャラリー	10:00～16:00
	マルシェ	11:00～14:00

詳細は1月上旬公開予定

共　催

下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱い

コンセール・アミティエ

第60回 音楽サロン plus

～皆さんとご一緒に～

全席自由
各回前売り 1,000円
当日 1,500円

好評発売中

主催：コンセール・アミティエ
11/26(火)
①10:45開演 ②14:15開演

出演：吉府 充希子、石井 有子、三原 麻梨子
（ソプラノ、ヴァイオリン、ピアノ）

会場 リハーサル室

戸塚区演奏家協会によるガラ・コンサート とつかのん Vol.10

～第10回記念公演～

全席自由
前売り 500円
当日 800円
チケット発売開始　12/12(木)9:00～
主催：戸塚区演奏家協会
2025年3/9(日)
14:00開演

出演：戸塚区演奏家協会 アーティスト
（ソプラノ、ヴァイオリン、フルート、オーボエ、ピアノ）

会場 ホール

TEL：045-866-2501　FAX：045-866-2502
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F
event@totsuka.hall-info.jp
https://totsuka.hall-info.jp
さくらプラザ　検索
※通信料が発生します。

戸塚区民文化センター さくらプラザ

SAKURA さくら
Vol.69
11・12月号
2024.11.1発行

編集後記

芸術の秋！も過ぎ去り、2024年も終わりですね。冬にはたくさんの出張イベントが予定されています。
どこかで皆さまにお会いするかもしれませんね。
ちなみに、ジムには入会しましたが、あまり行けていません……。

（近藤）

編集・発行：戸塚区民文化センター さくらプラザ　指定管理者：アートプレックス戸塚株式会社　運営企業：株式会社共立